

たすけ愛 食でつなぐ未来

フードドライブの取り組みは食品ロスの  
軽減にもつながります



# フードドライブ

「フードドライブ」とは、ご家庭や企業などで余っている食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや福祉団体などに寄付するボランティア活動です。

**ご家庭や企業などで余っている食品のご寄付をお願いします。**

〔寄付いただきたいもの〕

米、缶詰、飲料、インスタント食品や調味料など、常温保管が可能な食品の寄付をお願いします。



実施日時 令和4年10月22日（土）  
午前10時～午後4時30分  
実施場所 道の駅たがみ 情報発信施設内

11月以降も月2回（第2、第4日曜日）実施いたします。  
ただし、イベント等で実施日が変更となる場合があります。  
その際は、広報紙きずな、町HP、メール配信、Twitter等でお知らせします。

〔お問い合わせ先〕

（開始日時・会場等）**田上町役場（保健福祉課）**

tel.0256-57-6112 e-mail.t1121@town.tagami.lg.jp

（寄付できるもの等）**新潟県フードバンク連絡協議会**

tel&fax.0256-34-8960 e-mail.info@niigata-fblc.org

# 食べる幸せをみんなで分かち合う！

## フードドライブ

～食品ロスを減らそう～



### 「フードドライブって どういう意味？」

「もったいない」を「ありがとう」へ。

フードドライブとは、food(食べ物)+drive(運動)で「食べ物を集める運動」という意味。家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや福祉団体などに寄付するボランティア活動です。



### 「食品ロスとは？」

本来食べられるのに捨てられてしまう食品。

日本では、年間1,623万トンの食品廃棄物等が出されています。このうち、まだ食べられるのに捨てられる食品「食品ロス」の量は年間522万トン。(令和2年度推計値)  
大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から食品ロスを減らすことが必要です。

### 「フードバンクって 何をするの？」

食べる幸せを届けます。

まだ美味しく食べられるのに廃棄されている食べ物がたくさんあります。その一方で、その日の食べ物にも困っている人達がたくさんいます。フードバンクはその両方をつなぎ、個人や企業の方からまだ食べられるのに不要になった食品を無償で受け取り、それらを必要とする人達のもとへ無償でお届けします。



### 「寄付した食品はどこに届くの？」

～支援の流れ～

企業・団体・生産者など



個人  
ボランティア  
グループなど



フード  
バンク

行政  
社協  
福祉施設  
支援団体  
個人  
など

生活困窮世帯  
障がい者世帯  
高齢者世帯  
ひとり親世帯 などに配布  
その他、子ども食堂  
などで活用



### 「どんな食品を寄付すればいいの？」

常温保存可能な食品の寄付をお願いします。

- お米・お餅
- 缶詰・瓶詰
- 乾麺・海苔
- お菓子・飲料
- レトルト食品
- インスタント食品
- 調味料・食用油
- 野菜・果物 等

※未開封の食品  
※賞味期限がまだある食品  
※企業などで印字ミスや箱破れ等で販売できない食品

お中元・お歳暮  
贈答品などの  
ご寄付も大歓迎



冷蔵・冷凍食品の受入拠点もあります。詳しくは最寄りのフードバンクにお問い合わせください。

### 「フードバンクとSDGs」

誰一人取り残さない。

フードバンクの活動はSDGsの目標2「飢餓をゼロに」の達成に大きく貢献する活動です。また廃棄される食品を有効活用するので、目標12「つくる責任 使う責任」との関わりも大きくあります。持続可能な開発のためのパートナーシップで目標の達成に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

